

薬機法改正に関するアンケート結果について (オーバードーズ関連のみ)

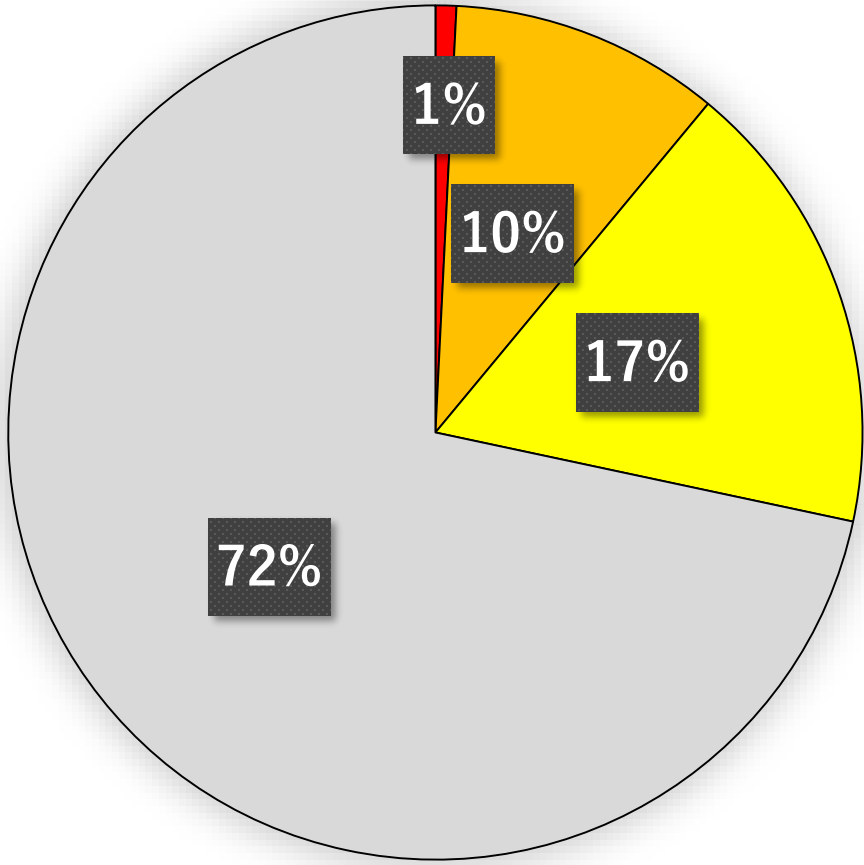
対象：岡山市内薬局（368施設）及び店舗販売業（177施設）

実施期間：令和8年6月10日（水）～7月31日（金）

回答方式：WEBアンケート

結果：以下のとおり

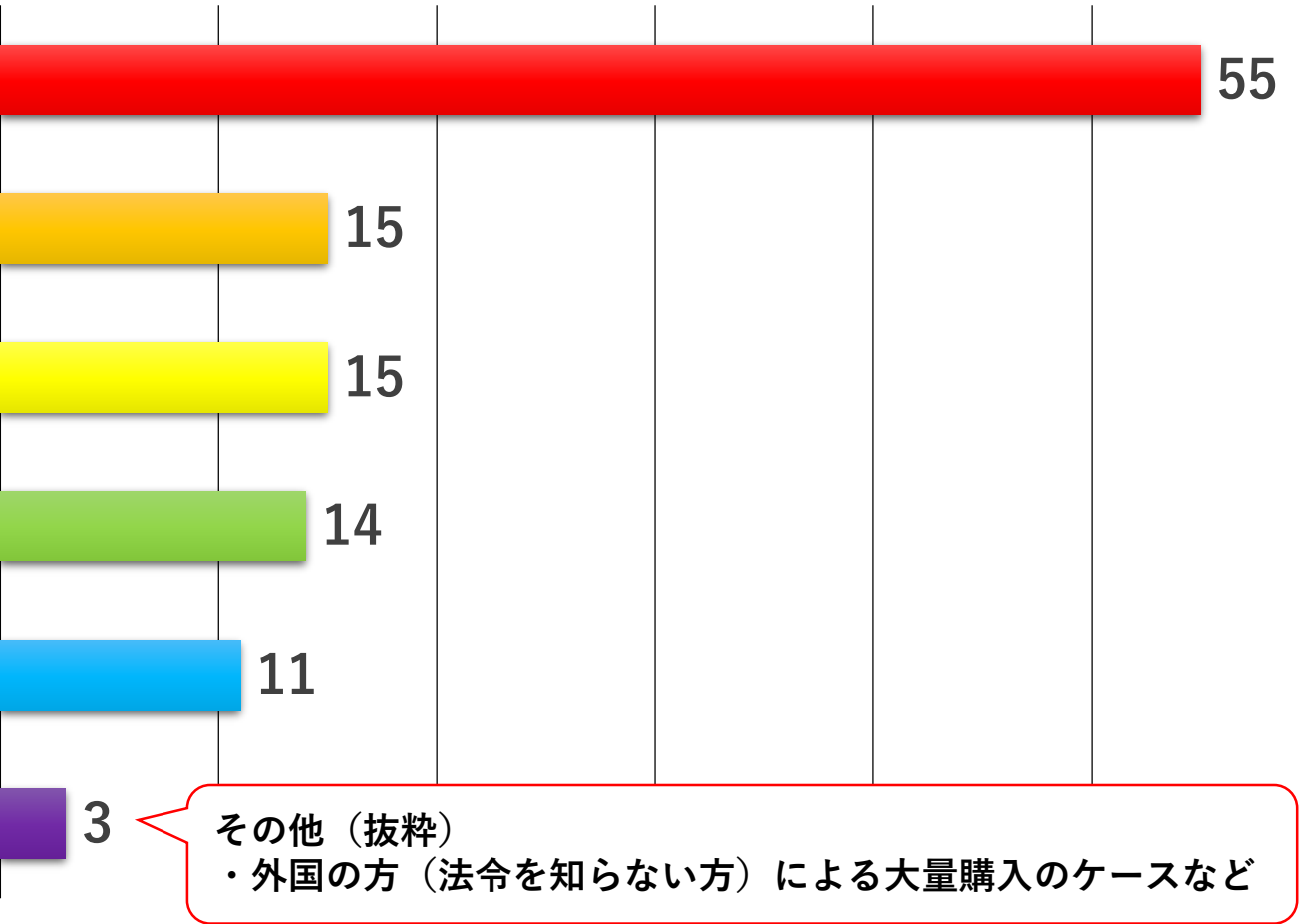
Q 1，過去1年間で、市販薬のオーバードーズ
（目的外の大量購入や頻回購入など）が疑われる
事例に遭遇したことはありますか？



回答	施設数	%
頻繁にある (月1回以上)	2	1%
たまにある (数ヶ月に1回程度)	26	10%
ほとんどない (年1、2回程度)	44	17%
一度もない	182	72%
総計	254	100%

※指定濫用防止医薬品を販売している施設のうち、回答があったものを集計しています（Q1,Q2,Q3）。

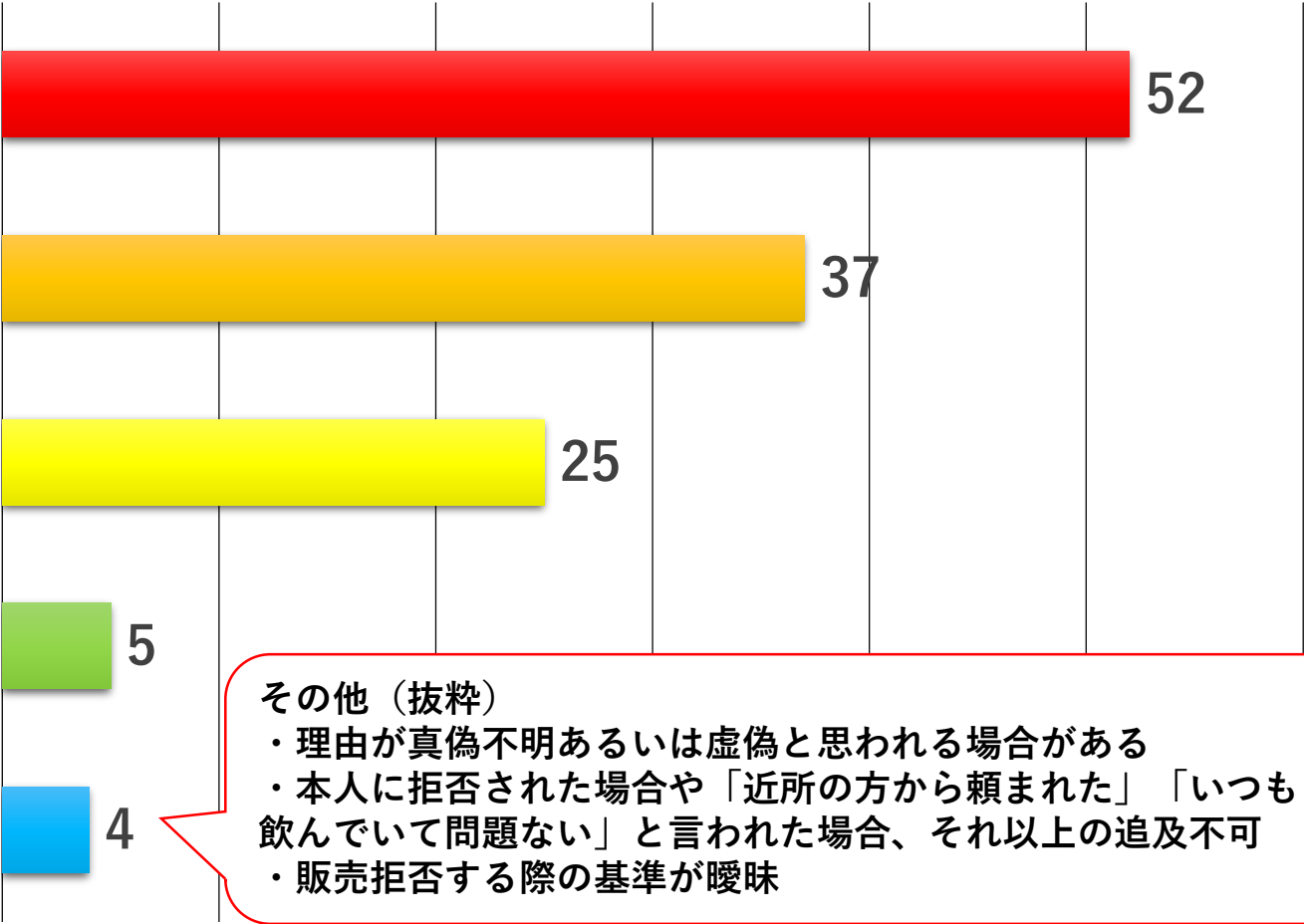
Q 2、疑わしいと感じた「購入者の特徴や行動」として、当てはまるものをすべて選択してください。



回答（72施設）	回答数
短期間に何度も同じ製品を買いに来る（頻回購入）	55
一度に複数個、または大容量製品を購入しようとする	15
特定の成分（デキストロメトルファン等）が含まれる製品を指定して購入しようとする	15
現在の症状や服用の目的について質問しても、曖昧な返答しか返ってこない	14
若年層（10代から20代）と思われる顧客である	11
その他	3
総計	113

※複数回答可で集計しています。また、Q 1でオーバードーズが疑われる事例が「一度もない」を選択した店舗には、Q 2， Q 3の質問をしていません。

Q 3，現場でオーバードーズ対策(声かけや販売拒否など)を行う上で、特に「難しい」と感じる課題は何ですか？



回答（74施設）	回答数
他店での購入履歴を正確に把握する手段がない(情報共有の限界)	52
お客さま・患者さまが怒り出したり、トラブルやクレームにつながる恐れがある	37
本当にオーバードーズか分からないため、声をかけるのを躊躇してしまう	25
特になし	5
その他	4
総計	123

※複数回答可で集計しています。また、Q 1でオーバードーズが疑われる事例が「一度もない」を選択した店舗には、Q 2， Q 3の質問をしていません。